



子どもたちの感性育む

今回で11回となる子どもたちに大人気の人形劇フェスタ。今年は市制施行130周年記念として、規模を拡大して9月18日に中央公民館で開催しました。当日は午前、午後の部共にたくさんの方々が参加し、市内外で活躍する7団体による8つの人形劇を上演しました。



撮影：木暮伸也

参加作家の感性触れて

アーツ前橋で開催中の企画展「ArtMeets07」。同展に関連して、小学生向けのプログラム「インスタントカメラで物語を作ろう！」やライブパフォーマンス、ギャラリーツアーなど、さまざまななかたちで作品に触れられる催しを実施しました。企画展は10月30日(日)まで開催します。

CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

駅前通りの路上で舌鼓

9月10日、飲食や音楽が楽しめるイベント「前橋バルストリート2022」を開催しました。JR前橋駅前けやき並木通りの片側が歩行者天国になり、飲食店が約70店舗出店。バーベキューや工作体験ができるキッズコーナー、テントエリアなどもあり、多くの来場者でにぎわいました。

8月17日に宮城県利府町で開催された全国中学校体操競技選手権大会で男子個人総合と種目別あん馬、鉄棒で2連覇を達成した栗原さん。

「体操にはじめて触れたのは、若いころ体操をやっていた父親に連れられて体育館に行った時です。その後、通っていた幼稚園に、現在所属している群馬ジュニアスポーツクラブの先生が教える課外授業で体操の楽しさを知りはじめました」

小学校に入学する前に体操クラブに入った栗原さん。月曜日以外、平日は17時から21時まで、土日曜は10時から17時30分まで練習をしている。練習が休みの日は、友だちと遊んだり、買い物に行ったりと中学生らしい生活も送っているという。

「体操は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の種目ごとに、数えきれないほどたくさんある技があります。その技を何度も練習して、成功した時に得られる達成感が楽しいです」

将来のオリンピック選手を育成するU15（15歳以下）ジュニアショナル選手に4年連続で選ばれた。栗原さんの将来の目標は、憧れの内村航平選手のようにオリンピックに出場して金メダルをとることだ。

「将来の目標につなげるためには、高校進学後も体操で全国トップになることが目標」

数々の大会で優秀な成績を収めた栗原さんは、体操界の次代を担っていく。

目標はオリンピックピック金メダル



全国中学校体操競技選手権大会
2連覇
栗原立貴さん・15歳
みずき中3年



園農政課
☎ 027-898-5841

旬な農産物や生産者を紹介するこのコーナー。今回は富田町の吉田栗園を紹介します。

吉田栗園では、2・2畝の敷地で15品種・630本のクリを栽培。さまざまな品種が順々に熟して地面に落ちるため、10月末まで予約制で栗拾いを楽しめます。

栗園を管理するのは、園主の吉田直人さん。管理が行き届いた園内は、等間隔に真つすぐと木が並び、背丈は3メートル程度にそろえられています。木の高さを抑え、枝が水平方向に広がるように剪定することで、太陽の光をたっぷり集めることができるそう。この結果、大粒で甘みが強いクリが育ちます。

吉田さんの一押しは10日以上じつくりと低温熟成させたクリを使い、専用の圧力釜で仕上げた焼き栗。熟成させることで糖度が一層増し、クリ本来の甘みと濃厚な味



わいを楽しめるといいます。手間が掛かる皮むきを機械で済ませたむき生栗の販売もしているため、自宅ですぐに調理できるのもうれしいポイント。市内の飲食店などでも同園のクリを使った料理や菓子が提供されています。

市内のクリ農園の情報は、前橋産果樹マップ「まえばる」に掲載しています。食欲の秋の味覚を味わってみてください。



吉田栗園
ホームページ



機械で選別をする園主の吉田直人さん